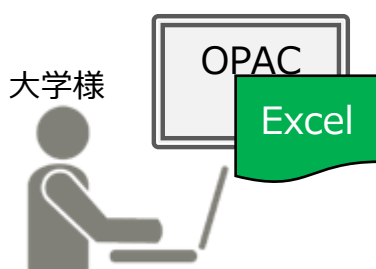


ERMS機能のご紹介

電子リソース利用が急速に拡大し、今後も電子ジャーナルをはじめとする電子情報資源へのアクセスを保証することが大学図書館の課題となっています。富士通では国内ベンダーで初めてERMSを提供しております。

電子リソース管理でお困りではありませんか？



- ✓ 出版社から提供される情報のExcelや紙での契約管理が煩雑
- ✓ 学生や教員からのアクセス権に関する問合せへの対応が困難
- ✓ 他大学からのILLに対して問い合わせへの回答が困難
- ✓ ディスカバリーサービス/リンクリゾルバのデータ整備が必要
- ✓ 変更が多く最新化が困難

「iLiswave-J ERMS機能※」が解決！

電子リソース情報の契約情報管理とデータ最新化が可能です。

※ ERMS機能はiLiswave-Jのオプション製品です。

こんな大学様にオススメです

- ✓ リンクリゾルバを既に導入済み
- ✓ 電子リソースをOPACに取り込むことで利用率をUPさせたい
- ✓ 電子リソースの契約件数が増加しており効率的に管理を行いたい

ERMSを導入するとOPACでできること

- OPACに電子ジャーナルの契約情報を表示できるようになります。



書誌詳細 1件目を表示 (全2件)

検索結果一覧へ戻る 印刷

Genes & Development ▶ 冊子体はこちら
HighWire Press, w. <EJ01134891>
電子ジャーナル
この書誌にはまだスタンプは押されていません。

総合評価: ★★★★★
登録タグ: 登録されているタグはありません
便利機能: ブックマーク タグ 出力 メール 文献管理
レビューを見る ▶ 詳細情報を見る
書誌URL: <https://fj-ilis-demo.iliswave.jp/webopac/EJ01134891> 選択

本文一覧

リンクをクリックすると外部リンクから本文を見ることができます。

リンク	プラットフォーム
1987-03-01 - Present	HighWire Press
1987-03-01 - 6 months ago	Freely Accessible Science Journals
1987-03-01 - 6 months ago	HighWire Press (Free Journals)
1997 - 6 months ago	PubMed Central ・閲覧可能な題: 題1、題2 ・同時アクセス数: 2 【終了後は必ずログアウトしてください】

このページのTOPへ

- ✓ 【冊子体はこちら】
ISSNなど検索キーを元に「冊子体」と「電子資料」の相互参照が可能です。

- ✓ 【本文一覧】
本文一覧にアクセス権一覧が表示されます。登録されている購読可能な範囲の情報、ライセンス、アーカイブ権、利用条件などを参照して、OPAC利用者自身が資料の参照可否を判断できます。

データベース一覧

データベースをOPACから一覧で見せることができます。

The screenshot shows the 'Fujitsu University Library' (富士通大学図書館) OPAC interface. At the top, there are links for '目録検索' (Catalog Search) and '利用者サービス' (User Service). Below is a 'データベース一覧' (Database List) section. A search box contains 'Fujitsu'. Below the search box are dropdown menus for '目的' (Purpose), '分野' (Field), and '言語' (Language). To the right of the search box are '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. Below the search box, it says '該当一覧 1件~2件 (全2件)' (Relevant list 1 item ~ 2 items (Total 2 items)). Below this, there are two items listed: 1. 'FujitsuHistory' with details about its purpose, field, and language. 2. 'FujitsuJapan'.

- ✓ プラットフォーム（データベース）を一覧で見せることができます。
- ✓ カテゴリ（目的）、分野、言語で絞り込みを行うことができます。

6つの特長

1. 契約データの一元管理・共有

Excel等で管理していた電子リソースの契約情報を図書館システムで一元管理できます。

2. 最新のアクセス権の取り込み

リンクリゾルバからダウンロードしたOPAC連携データ（書誌・アクセス権）を画面から簡単に取り込み可能です。

3. 利用者サービス向上

利用者は、OPACからタイトル単位にアクセス権・ライセンス情報を確認可能です。参照可能であれば、そのまま電子リソースを閲覧することができます。

4. アーカイブ権の管理

契約終了したアーカイブ権が残るデータの管理も可能です。より正確な情報を利用者に提供可能です。

5. タスク管理

電子リソース契約に固有の様々な状態・日付を管理することで、作業ごとのアラート・抽出が可能です。作業の漏れを防止できます。

6. 予算管理

冊子体と電子の予算を一元管理することが可能です。複数部署での予算分割など、支払データの複数登録が可能です。

※詳しくは弊社担当営業/SEまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社

担当 : Public&Education事業本部

ビジネス変革室 大学戦略担当

連絡先 : fjj-bunkyo-ilisuniv@dl.jp.fujitsu.com